

消石灰の散布方法

国内では、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱に加え、ランピースキン病の発生が確認されています。病原体農場侵入防止として消毒の徹底をお願いしていますが、消毒薬を正しく使用しないと十分な効果は得られません。今回は畜産現場で使用頻度の高い消石灰について紹介します。

ポイント

1. 消石灰は畜舎周囲及び農場外縁部に散布

- ◆散布の目安は $0.5\text{kg}/\text{m}^2$
- ◆箒等を使用して地面がまんべんなく白く均一になるように



2. 水を追加すると強アルカリ化

- ◆効果は2週間程度
- ◆1週間に1回、追加散布を検討
⇒空気(CO₂)と触れると、効果が減少
⇒粉のため、飛散しやすい
- ◆粉の状態に水を追加すると効果上昇
⇒じょうろ等で床を濡らし、石灰乳として使用

3. 野生動物対策

- ◆野生動物の足裏等に付着した病原体の不活化
- ◆忌避効果を期待



**消石灰は、強いアルカリであることを忘れずに
周辺環境に配慮しながら配布してください**